

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

楽しみながら 金融知識を！

山形県金融広報委員会
齋藤 育子

山形県金融広報委員会では、山形県の秋の一大イベントである「日本一の芋煮会フェスティバル」において、3年前から金融広報のためのブースを毎年出店しています。芋煮は山形の秋の味覚です。このイベントでは、直径6メートルの大

鍋で3万食の芋煮がふるまわれ、長蛇の列ができるほど県内外から大勢の方々が集まります。9月第一日曜日なので、まだまだ暑い中での開催になります。そんな中、会場にいらっしやった方々に休憩がてら楽しんでいただけるよう内容を工夫しています。

財務事務所や山形県消費生活センター、県警本部とも連携して、チラシや啓発グッズを配ったり、クイズコーナーを設けたりしています。クイズコーナーは毎年盛り上がりがあります。普段身近であるのになかなか

知ることのできないお金に関する知識に、みなさん真剣に耳を傾けます。ときには、意外な正解にみなさんが驚いたりすることもあります。

また、金融広報中央委員会作成の貯金箱作りコーナーや二万円の写真撮影用パネル、一億円の模擬券パックをお子さま向けに設置し、好評をいただいております。一億円の模擬券パックの重さには、子どものみならず、大人も驚きます。貯金箱作りコーナーに関しては、金融広報アドバイザーや、金融教育研究校である山形市立商業高等学校の生徒さ

ら5名にもお手伝いいただきました。お蔭さまで昨年度にも増して大盛況に終わりました。各機関が連携して活動を行うことにより、お金に関するさまざまな情報を多くの方々に提供することができました。

意外に敬遠されがちな「お金の話」。できるだけ楽しく、たくさんの方々に普及させていきたいと思っております。



芋煮マンとパチリ！

アドバイザー 研修会開催！

広島県金融広報委員会
原 美智子

広島県金融広報委員会では、セミナー開催や講師派遣に加え、講師役を担っている金融広報アドバイザーのみなさんを対象とした研修会を年に数回、行っています。最新の情報やトピックスに接することなどを通じて、アドバイザーとして

の活動内容をさらに磨き上げてもらうことが狙いです。これまでの研修会は、外部講師による講義が中心で、「悪質商法の手口」「話し方教室」など、アドバイザーの活動に役立つよう毎回工夫しながらテーマを決めていました。「ちよつとしたことでも何か気づきをもってもらえるような研修会にしたい。でも、それぞれ経験年数も専門分野も違うし、そもそも講師として活躍されている方が必要としている情報ってなんだろう…。」テーマの候補は無限に広がるばかりです。

そこで、10月に開催した研修会では、思い切っついつものような外部講師による講義をやめて、意見交換の時間を多くとってみました。その結果、予想以上にさまざまな声が上がりました。普段の活動内容、抱えている悩み、講演をする際の工夫など、事務局として参考になる意見をたくさんいただきました。アドバイザーのための研修会と言いつつ、逆に研修を企画した私が教わることばかり。改めて、コミュニケーションの大切さを実感しました。

私が一般の方々と直接お話しする機会は多くありません。でも、最前線で活躍されているアドバイザーのみなさんの声から学ぶことで、私自身もスキルアップして、金融広報活動を進めていきたいと思っております！！



前列右側が原さん